

加東市役所

贈呈理由

環境に配慮したエコキュート、地中熱ヒートポンプチャラーなどの導入により、大幅な省エネルギーを実現



加東市役所庁舎

新庁舎の建設で 市民サービスの向上を図る

加東市は、兵庫県中央部のやや南寄りに位置し、北部から北東部にかけては中国山地から連なる御嶽山、源平古戦場三草山、五峰山などの山々がある。

2006年に社町、滝野町、東条町の合併により加東市が誕生。「山よし！技よし！文化よし！夢がきらめく☆元気なまち 加東」の実現のために新しい歴史をスタートさせた。

加東市では、合併直後から分庁方式を採用していたことから、各庁舎に各部署が分散配置となっていたが、市民サービス、行政の効率面で課題があったため、各庁舎を統合する新庁舎の建



ロビー

設を決定した。

「住みよいまち、加東市」にふさわしい、人と地球にやさしい庁舎をコンセプトに掲げた設計を行い、14年に便利で市民が集いやすい庁舎に生まれ変わった。

自然エネルギー活用・BEMS導入による 省エネルギー活動を実践

新庁舎は、自然エネルギーを活用する地中熱利用水熱源ヒートポンプ、太陽光発電、エコキュートを導入するとともに、人感センサーなどの調光システム、床吹き出し空調などの高効率な設備を積極的に採用した。

さらに、市民の意識を高めてもらうことを目的にBEMS(ビル・エネルギー管理システム)を導入し、新庁舎のエネルギー需給の「見える化」も実現している。

新庁舎完成後から毎月、BEMSに蓄積された空調、給湯、照明の運転状況や使用量などのデータを時系列的に分析し、最大電力の抑制に取り組んでいる。また、さらなる省エネルギーを図るため、すべての照明のLED化を計



地中熱利用水熱源ヒートポンプチャラー

画中だ。

今後も蓄積した運転データを分析しながら、季節ごとの負荷状況に応じたより効率的な運転、チューニングによる電力負荷・環境負荷の低減を目指して省エネルギー活動を実践し、市庁舎を利用する人々が集いやすい環境づくりを目指していく。

加東市役所庁舎

所在地：兵庫県加東市社50
 建築設計：機梓設計
 建築施工：TSUTUYA・美樹工業共同企業体
 設備設計：機梓設計
 設備施工：三晃空調株式会社
 延床面積：10,730㎡
 竣工：2014年2月新設

■設備概要

エコ・アイスmini 6馬力相当×1台(三菱電機)
 業務用エコキュート 40kW×1台(三菱電機)
 蓄熱槽2㎡
 地中熱利用水熱源ヒートポンプチャラー 53.1kW×1台
 (ゼネラルヒートポンプ工業)

関西



ヒートポンプ給湯



エコ・アイス
(mini)



地中熱